（社）兵庫県サッカー協会

公 式 記 録

平成19年度兵庫県高等学校サッカー新人大会　　準決勝　【38】

主審署名	川 崎 秋 仁

日時	2008 年 2 月 9 日（土） 13 ： 00 キックオフ	会場	アスパ五色メイングラウンド
天候	雨	風	弱風
ピッチ	(芝)・クレー	状態	(良好)・不良・泥沼
試合形式	70 分 / 延長 分 PK戦 有		
ﾏｯﾁｺﾐｯｼｮﾅｰ		会場主任	斎藤 司
記録	赤松 正人 ／ 堀口 泰司	観衆	200 人
主審	川崎 秋仁	副審1	八巻 良輔
副審2	長尾 秀樹	第4の審判員	鈴木 義章

チーム名	kick off					チーム名	kick off
市尼崎高校		0	0	前半	0	県伊丹高校	
			0	後半	1		
				延前			
先				延後		先	
背番号				PK戦		背番号	
○ ×						○ ×	

交代 No.	交代 OUT時間	シュート 延後	シュート 延前	シュート 後半	シュート 前半	得点	選手名 (学年)	番号	位置	位置	番号	選手名 (学年)	得点	シュート 前半	シュート 後半	シュート 延前	シュート 延後	交代 OUT時間	交代 No.
	分						井上 友彰 2年	1	GK	GK	1	上村 優斗 2年						分	
	分						辻田 真吾 2年	2	DF	DF	4	陸野 友太 2年						分	
	分						下村 悠貴 2年	3	DF	DF	3	渡邊 悠 2年						分	
	分			1			川上 裕己 1年	4	DF	DF	18	香川 貴哉 2年						分	
	分						濱谷 勇輝 2年	(5)	DF	DF	15	尾山 健太 1年						分	
	分				2		森下 裕也 2年	6	MF	MF	(10)	米本 拓司 2年		1	2			分	
	分			1	3		杉山 雄亮 2年	7	MF	MF	6	中辻 紘生 1年						分	
	分				1		浜野 達也 2年	8	MF	MF	2	森園 翔太 2年		1	1			分	
	分			1			田中 良 2年	9	MF	MF	9	奥宮 一輝 2年	1		*1			分	
	分						奥村 真人 2年	10	FW	MF	8	大原 源基 1年		1				分	
	51 分						坂本 圭悟 1年	11	FW	FW	14	原田 一樹 1年			2			分	
	分						佐々木 望 1年	12	GK	GK	12	山本 佳比古 2年						分	
	分						川本 拓広 1年	13	DF	FW	17	亀掛川 澪斗 2年						分	
11	分			1			森本 竜太 1年	14	MF	MF	20	豆鞘 俊平 2年						分	
	分						保田 拳介 1年	15	MF	DF	7	竹内 友希 2年						分	
	分						巴山 陽平 1年	16	MF	MF	13	小松 史昌 1年						分	
	分						垣田 大樹 1年	17	MF	FW	11	萩野 大地 2年						分	
	分						井口 翔吾 1年	18	DF	DF	5	久保 貴紀 2年						分	
	分						吉田 昴史 1年	19	FW	MF	19	石橋 孝二郎 2年						分	
	分						年			DF	16	中村 魁史 1年						分	

時間	警・退	No.	氏名	事由
68 分	警	9	田中 良	ラフ
分				
分				
分				
分				
分				
分				
分				

泰中 三郎	延後	延前	後半	前半
合計				
10			4	6
10			6	4
5			3	2
14			5	9
1			0	1
0			0	0
0			0	0

監督	小川 耕司				
チーム合計	前半	後半	延前	延後	合計
シュート	3	6			9
GK	4	3			7
CK	0	3			3
直接FK	3	6			9
間接FK	1	0			1
(ｵﾌｻｲﾄﾞ)	1	0			1
PK	0	0			0

時間	警・退	No.	氏名	事由
33 分	警	15	尾山 健太	反ス
66 分	警	10	米本 拓司	繰り返し
分				
分				
分				
分				
分				
分				

得点経過

時間	チーム	No.	得点者	スコア	［得点経過］ 略号例：ドリブル～・ゴロのパス→・浮き球∩・混戦×・ヘディングH・シュートS
69 分	県伊丹	9	奥宮	0 － 1	右②∩中央⑨HS
分				－	
分				－	
分				－	
分				－	
分				－	
分				－	
分				－	
分				－	
分				－	

戦評

戦評者　所属【　県立西宮高校　】　氏名【　石塚 俊一　】

両チームとも4－4－2のシステムでスタート。立ち上がりからショートパスをつなぐ市尼崎がペースをつかむ。スリッピーなピッチにあわせDFラインでのカバーリングを深めに保つ市尼崎。右サイドからの突破からチャンスを伺う県伊丹。5分、28分と市尼崎がゴールにせまるが得点できず前半を終える。後半に入り、FWへのサポートを早めた県伊丹が少しずつペースをつかみ、市尼崎がカウンター攻撃を狙う展開となった。一進一退の中、ボール際の粘りを見せる県伊丹は、後半終了間際に②森園がサイドを突破、精度の高いセンタリングをあげ、⑨奥宮がヘディングで得点し、ゲームを決めた。足下の技術を活かしながら多彩な攻撃を魅せた市尼崎に賛辞を送るとともに、要所にタレントを揃えた県伊丹のさらなる飛躍を感じさせるゲームであった。